

東京の野生キノコ

清水 高志

Wild Mushrooms in Tokyo

Takashi SHIMIZU

Summary

To get correct information about wild mushrooms in Tokyo, the distribution of them (except city area and islands) were investigated from 1976 to 1979.

As a result, 33 families (306 species) of wild mushrooms were identified and listed up. In addition, their ecological growing environment and their toxicity were researched and classified.

I はじめに

都内に発生する野生キノコの全貌を明らかにし、都民に正しいキノコの知識を普及し、食中毒事故防止に役立つ目的で、昭和51年から4年間にわたって、世田谷区、杉並区、練馬区以西の都内（島しょ地域を除く）の林地に発生する野生キノコの分布状態を調べてきた。その結果33科306種のキノコを確認した。さらにこれら調査したキノコを分類整理して、後出表-4の「東京の野生キノコ調査目録」を作成した。

なお、本目録作成に当たり、標本の一部を同定していただきました。財団法人日本きのこ研究所の深井三郎氏並びに、調査に当り現地案内等種々御配慮いただきました関係区役所公園主管課、水道局村山山口貯水池管理事務所、水道局水源林事務所日原出張所、各経済事務所林務主管課、青梅市役所住宅公園課に対し厚く御礼申し上げます。

II 調査地の状況

調査地の状況は、青梅市9ヶ所、八王子市7ヶ所、練馬区、東大和市及び奥多摩町各4ヶ所、板橋区及び秋川市各3ヶ所、世田谷区、杉並区、清瀬市、町田市、日の出町及び五日市町各2ヶ所、田無市、福生市、稲城市、日野市及び松原村各1ヶ所の計51ヶ所であった。

調査地の選定に当っては、都内全域から均等に60ヶ所を選定する計画であったが、対象を林地内に発生するキノコに限定したため、区内及び北多摩地域には対象と

なるような場所が少なく、更に、西多摩、南多摩の山間部はスギ、ヒノキの人工林地帯が多く、野生キノコの発生環境に乏しい地域であったので、調査地が特定地域に偏ってしまった。

調査林地の所有区分は、私有林が大部分であって、一部、公立公園、社寺有林、都有林となっている。

調査地は林地であるため、平坦部を除いて、地勢の関係上南面の緩傾斜地が多く、海拔高では世田谷区の20mが最低で、最高は奥多摩町の1,600mであって、100～300mの丘陵地が最も多い。

調査地の林況は、一部にカラマツの人工林がみられるものの殆んど自然林で、針葉樹林は少なく、樹種は、アカマツ、カラマツで、広葉樹林は丘陵地に多く、コナラ等を中心としたザツ木で、針広混交林は社寺有林と都有林に多く、アカマツ、モミ、ツガ等とザツの天然林となっている。とくに、最近、広葉樹林は経済的価値が低下しているためか、手入不良林分が殆んどで、林内は灌木、下草類の繁茂、落葉の堆積等甚しく、林内の立入が困難な場所が多く、キノコの発生環境としてはますます悪くなっているように思われる。

III 調査方法

調査は7月～11月に、原則として一地域2回、同一地域で1～4年間行い、キノコの種類の確認、とくに、生態的生育環境及び食毒性について調査するとともに、キノコは一部採取し、標本として当分場に保存した。

表-1 調査地一覧表

番号	地名	地況			林況
		方位	傾斜	海拔高 _m	
1	世田谷区喜多見4丁目		平	20	混交林(アカマツ, ザツ)
2	世田谷区成城4丁目	W	急	40	広葉樹林(ザツ)
3	杉並区善福寺町1丁目		平	50	混交林(アカマツ, シイ, カシ, ザツ)
4	杉並区上井草2丁目		平	45	広葉樹林(ザツ)
5	練馬区南大泉町		平	50	混交林(アカマツ, クヌギ, シデ, ザツ)
6	練馬区大泉学園町		平	50	混交林(アカマツ, コナラ, クヌギ, ザツ)
7	練馬区土支田町4丁目		平	30	広葉樹林(ザツ)
8	練馬区早宮3丁目		平	37	広葉樹林(ザツ)
9	板橋区前野町5丁目	N	急	25	広葉樹林(ザツ)
10	板橋区赤塚5丁目	N.E	急	30	広葉樹林(ザツ)
11	板橋区成増5丁目	N.E	急	20	広葉樹林(ザツ)
12	田無市西原町4丁目		平	64	混交林(アカマツ, ザツ)
13	清瀬市中里6丁目	N	緩	30	混交林(アカマツ, ザツ)
14	清瀬市旭ヶ丘1丁目		平	30	混交林(アカマツ, ザツ)
15	福生市熊川		平	120	広葉樹林(ザツ)
16	東大和市多摩湖6丁目 村山上貯水池南岸	N	緩	135	混交林(アカマツ, ザツ)
17	東大和市多摩湖2丁目 村山上貯水池北岸	S	緩	135	混交林(アカマツ, ザツ)
18	東大和市多摩湖5丁目 村山下貯水池南岸	N	緩	135	混交林(アカマツ, ザツ)
19	東大和市多摩湖2丁目 村山下貯水池北岸	S	緩	135	混交林(アカマツ, ザツ)
20	町田市野津田町	E	緩	122	広葉樹林(ザツ)
21	町田市常盤町	S	緩	140	広葉樹林(ザツ)
22	稲城市百村	E.W	緩	127	広葉樹林(ザツ)
23	日野市程久保	W	急	175	混交林(アカマツ, ザツ)
24	八王子市上由木	N.E	緩	175	混交林(アカマツ, ザツ)
25	八王子市石川町	S.N	緩	120	混交林(アカマツ, ザツ)

清水：東京の野生キノコ

番号	地名	地況			林況
		方位	傾斜	海拔高 _m	
26	八王子市宇津木町	S.N	緩	140	広葉樹林(ザツ)
27	八王子市加住町	S	緩	170	広葉樹林(ザツ)
28	八王子市上川町	S.N	緩	250	広葉樹林(ザツ)
29	八王子市高月町	E	緩	170	広葉樹林(ザツ)
30	八王子市戸吹町	S	緩	230	広葉樹林(ザツ)
31	秋川市草花	S	緩	180	広葉樹林(ザツ)
32	秋川市菅生上	S	急	230	広葉樹林(ザツ)
33	秋川市菅生尾崎	S	緩	240	広葉樹林(ザツ)
34	西多摩郡日の出町 平井谷の入	W	急	240	広葉樹林(ザツ)
35	西多摩郡日の出町 平井谷	E	緩	230	広葉樹林(ザツ)
36	西多摩郡五日市町横沢	S	急	260	広葉樹林(ザツ)
37	西多摩郡五日市町小和田	E.S	急	280	広葉樹林(ザツ)
38	西多摩郡桧原村数馬	E	急	1,100 ~ 1,500	混交林(モミ, ツガ, ザツ)
39	青梅市長湊8丁目	S	緩	240 ~ 260	混交林(アカマツ, ザツ)
40	青梅市長湊9丁目	S	緩	240	広葉樹林(ザツ)
41	青梅市新町		平	150	針葉樹林(アカマツ)
42	青梅市小曾木1丁目	W	緩	200	針葉樹林(アカマツ)
43	青梅市小曾木3丁目	S	急	220	広葉樹林(ザツ)
44	青梅市小曾木4丁目	S	緩	230	針葉樹林(アカマツ)
45	青梅市青梅	S.N	急	220 ~ 240	混交林(アカマツ, ザツ)
46	青梅市成木7丁目	S.N	急	680 ~ 790	広葉樹林(ザツ)
47	青梅市御岳山	E.W	急	800 ~ 920	混交林(アカマツ, モミ, ツガ, ザツ)
48	西多摩郡奥多摩町 日原小川谷	S.E	急	1,100 ~ 1,200	混交林(ツガ, ザツ)
49	西多摩郡奥多摩町 日原小川谷	S	急	1,200 ~ 1,600	混交林(カラマツ, モミ, ツガ, ザツ)
50	西多摩郡奥多摩町 日原孫惣谷	E.W	急	1,100 ~ 1,200	混交林(カラマツ, モミ, ツガ, ザツ)
51	西多摩郡奥多摩町 日原己ノ戸谷	N	急	1,000 ~ 1,100	混交林(ツガ, ザツ)

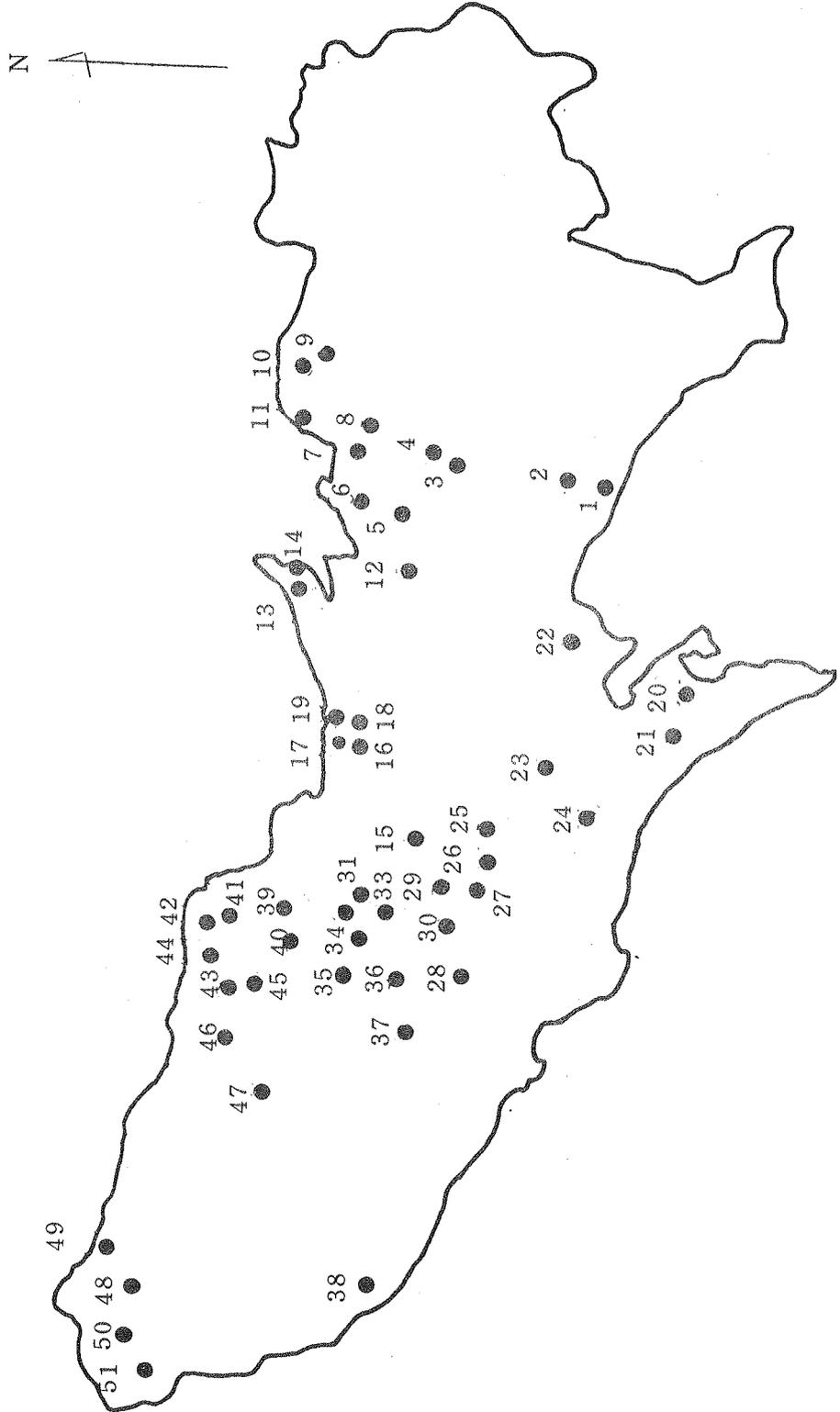


図1 調査地位位置図

表 - 2 科別分類表

学 名	和 名	種 類	
		数	比 率%
<i>ASCOMYCETES</i>	子 の う 菌 類	(4)	(1.3)
<i>Xylariaceae</i>	クロサイワイタケ科	1	0.3
<i>Helvellaceae</i>	ノボリリュウ科	1	0.3
<i>Helotiaceae</i>	ビヨウタケ科	1	0.3
<i>Geoglossaceae</i>	テングノメシガイ科	1	0.3
<i>BASIDIOMYCETES</i>	担 子 菌 類	(302)	(98.7)
<i>AURICULARLES</i>	キ ク ラ ゲ 目	(1)	(0.3)
<i>Auriculariaceae</i>	キ ク ラ ゲ 科	1	0.3
<i>TREMELLALES</i>	シロキクラゲ目	(2)	(0.7)
<i>Tremellaceae</i>	シロキクラゲ科	2	0.7
<i>APHYLLOPHORALES</i>	ヒ ダ ナ シ 目	(71)	(23.2)
<i>Clavariaceae</i>	ホウキタケ科	9	2.9
<i>Corticaceae</i>	コウヤクタケ科	5	1.6
<i>Cantharellaceae</i>	アンズタケ科	7	2.3
<i>Thelephoyaceae</i>	イボタケ科	4	1.3
<i>Hydnaceae</i>	ハリタケ科	5	1.6
<i>Polyporaceae</i>	サルノコシカケ科	35	11.4
<i>Mucronoporaceae</i>	キコブタケ科	6	2.0
<i>AGARICALES</i>	ハ ラ タ ケ 目	(220)	(71.9)
<i>Hygrophoyaceae</i>	ヌメリガサ科	9	7.9
<i>Tricholometaceae</i>	キシメジ科	49	16.0
<i>Amanitaceae</i>	テングタケ科	26	8.5
<i>Agaricaceae</i>	ハラタケ科	15	4.9
<i>Coprinaceae</i>	ヒトヨタケ科	6	2.0
<i>Bolbitiaceae</i>	オキナタケ科	3	1.0
<i>Strophariaceae</i>	モエギタケ科	10	3.3
<i>Cortinariaceae</i>	フウセンタケ科	23	7.5
<i>Crepidotaceae</i>	チャヒラタケ科	1	0.3
<i>Rhodophyllaceae</i>	イッポンシメジ科	6	2.0
<i>Paxillaceae</i>	ヒダハタケ科	1	0.3
<i>Gomphidiaceae</i>	クギタケ科	2	0.7
<i>Boletaceae</i>	イグチ科	26	8.5
<i>Strobilomycetaceae</i>	オニイグチ科	5	1.6
<i>Russulaceae</i>	ベニタケ科	38	12.4
<i>GASTROMYCETALES</i>	フ ク キ ン 目	(8)	(2.6)
<i>Phizopogonaceae</i>	シヨウロ科	1	0.3
<i>Calostomataceae</i>	クチベニタケ科	1	0.3
<i>Lycoperdaceae</i>	ホコリタケ科	3	1.0
<i>Geastraceae</i>	コフキクワツチガキ科	2	0.7
<i>Rhizoglyphaceae</i>	スッポンタケ科	1	0.3

Ⅳ 調査したキノコの分類

菌類分類学上により調査した33科306種のキノコを整理すれば、子のう菌類4科4種、担子菌類29科302種で、殆んど担子菌類である。

更に、これを科別に分類すれば表-2のとおりであって、キシメジ科が49種で最も多く全体の16%、次いでベニタケ科38種12%、サルノコシカケ科35種11%、テングタケ科及びイグチ科の各26種9%の順となっていて、クロサイワイタケ科ほか9科のキノコは最も少なく、すべて1科1種であった。

Ⅴ キノコの分布概況

一般的にみて、キシメジ科、ベニタケ科、サルノコシ

カケ科のキノコ類が多く、しかも、これらは殆んどの調査地に分布している。調査地が林地であるため、これらのキノコは森林と密接な関係のあるグループに属しているものと思われる。

次に、調査地10ヶ所以上でみられたキノコは、表-3のとおり41種類で、全体の13.4%となっている。また、これを科別にみると、ベニタケ科が9種で最も多く、次いでサルノコシカケ科7種、テングタケ科6種、キシメジ科4種、ハラタケ科3種、ホコリタケ科及びイグチ科各2種で、クロサイワイタケ科、シロキクラゲ科、コウヤクタケ科、キコブタケ科、ヒトヨタケ科、モエギタケ科、オニイグチ科、ショウロ科が各1種であった。

また、生態的にみると、地上生のもので223種(73%)、樹上生のもので82種(27%)、キノコ上のもので1

表-3 10ヶ所以上の調査地でみられたキノコ

科名	和名	個所数	科名	和名	個所数
サルノコシカケ科	カワラタケ	41	ベニタケ科	キチチタケ	14
〃	アナタケ	39	サルノコシカケ科	ツヤウチワタケ	13
ホコリタケ科	キツネノチャブクロ	36	キシメジ科	ツエタケ	13
ベニタケ科	ドクベニタケ	33	ベニタケ科	チチタケ	13
モエギタケ科	ニガクリタケ	25	キコブタケ科	チャンドタケ	12
ハラタケ科	ザラエノハラタケ	21	キシメジ科	ナラタケ	12
クロサイワイタケ科	クロコブタケ	20	テングタケ科	シロオニタケ	12
テングタケ科	ツルタケ	20	ベニタケ科	シロハツモドキ	12
〃	カバイロツルタケ	20	コウヤクタケ科	コガネコウヤクタケ	11
ベニタケ科	カワリハツ	19	ハラタケ科	カラカサタケ	11
シロキクラゲ科	ハナビラニカワタケ	18	ベニタケ科	ツチカブリ	11
ホコリタケ科	ノウタケ	18	〃	クサハツ	11
サルノコシカケ科	ニクウスバタケ	17	サルノコシカケ科	ニツケイタケ	10
〃	エゴノキタケ	17	キシメジ科	ウラムラサキ	10
ハラタケ科	ハラタケ	17	〃	カレバタケ	10
サルノコシカケ科	カイガラタケ	16	テングタケ科	フクロツルタケ	10
ショウロ科	シラタマタケ	16	〃	クロタマゴテングタケ	10
ベニタケ科	ヤブレベニタケ	15	イグチ科	ヌメリイグチ	10
ベニタケ科	アイタケ	15	〃	コウジタケ	10
テングタケ科	コタマゴテングタケ	14	オニイグチ科	オニイグチ	10
ヒトヨタケ科	イタチタケ	14			

種で、更に、食茸148種(48%)、毒茸12種(4%)食毒不明(通常食用としないものを含む)146種(48%)であった。調査地別の分布概況は次のとおりである。

① 世田谷区喜多見4丁目 分布数 7科13種

多摩川に近い永川神社境内で、林内は落葉の堆積多く、ハラタケ科のザラエノハラタケが最も多くみられた。

② 世田谷区成城4丁目 分布数 9科26種

小田急線成城学園前駅に近い、西向の急斜面で、自然林の形態を残している区立の公園内であって、カワラタケ等のサルノコシカケ科、アカキツネガサ等のハラタケ科のキノコが多く、更に、テングタケ科のタマゴタケ、ベニタケ科のクロハツ等もみられ、その種類は比較的豊富であった。

③ 杉並区善福寺町1丁目 分布数 6科10種

井草八幡宮の境内で、村内は落葉の堆積多く、汚れていて、暗く、キノコの種類は少なかった。

④ 杉並区上井草2丁目 分布数 4科7種

西武新宿線上井草駅近くの住宅に囲まれた区立公園予定地で、キノコの種類はとくに少なかった。

⑤ 練馬区南大泉町 分布数 8科19種

区立まつのき憩の森公園内で、林内はよく整備されていて、明るく、サルノコシカケ科のマンネンタケ、ニクウスバタケ、キシメジ科のナラタケ等が多くみられ、キノコの種類は豊富であった。

⑥ 練馬区大泉学園町 分布数 12科19種

区立小樽憩の森公園内で、林内は下草多くハラタケ科のアカキツネガサが多くみられた。

⑦ 練馬区土支田町4丁目 分布数 7科12種

区立稲荷山公園内で、林内は暗く、汚れていて、ハラタケ科のザラエノハラタケ等が多くみられた。

⑧ 練馬区早宮3丁目 分布数 8科17種

内田市五郎氏邸内で、ケヤキの巨木に囲まれた屋敷林で、林内は下草の繁茂と落葉の堆積が甚しく、ハラタケ科のハラタケが最も多く、直径2m程度の見事な菌輪がみられたほか、オニタケ、キシメジ科のハタシメジもみられた。

⑨ 板橋区前野町5丁目 分布数 5科7種

区立日暮台公園内の急斜面で、住宅地のなかにあって、ホコリタケ科のオニフスベが多くみられた。

⑩ 板橋区赤塚5丁目 分布数 10科19種

都立赤塚溜池公園附近の林地で、下草の繁茂、人の立入甚しく、ヒトヨタケ科のササクレヒトヨタケ、モエギタケ科のサケツバタケ等がみられた。

⑪ 板橋区成増5丁目 分布数 5科6種

区立成増5丁目公園内で、林内は暗く、人の立入甚しく、モエギタケ科のサケツバタケ等、ベニタケ科のドクベニタケ等のほかはキノコの種類はとくに少なかった。

⑫ 田無市西原町4丁目 分布数 9科16種

田無市西部の林地で、林内は人の立入甚しく、地面は踏みつけられていて、汚れひどく、サルノコシカケ科のカワラタケ、ニクウスバタケ等の樹上生のものが多かった。

⑬ 清瀬市中里6丁目 分布数 6科13種

⑭ // 旭ヶ丘1丁目 分布数 7科9種

埼玉県境に近い、都道両側の林地で、ともにサルノコシカケ科のカワラタケ、ニクウスバタケ等の樹上生以外のキノコは極めて少なかった。

⑮ 福生市熊川 分布数 5科9種

横田基地南側の林地で、高令林で林内は暗く、シイタケのホダ場として利用している場所で、サルノコシカケ科のカワラタケ、エゴノキタケ、キシメジ科のナラタケが多くみられた。

⑯ 東大和市多摩湖6丁目 分布数 21科97種

⑰ // 2丁目 分布数 19科93種

⑱ // 5丁目 分布数 21科88種

⑲ // 2丁目 分布数 18科76種

いづれも、水道局村山山口貯水池(多摩湖)周囲の林地で、アカマツとザツの混交林で、自然林として、よく整備保護されていて、一般の立入を禁止している場所で、全調査地中キノコの種類は最も豊富で、とくに、ベニタケ科、イグチ科、テングタケ科、サルノコシカケ科、キシメジ科のキノコが非常に多く、1科当り12~19種もみられた。なかでも、ベニタケ科ではドクベニタケ、ヤブレベニタケ、イグチ科ではヤマドリタケ、ヌメリイグチ、テングタケ科ではフクロツルタケ、テングタケ(毒)、サルノコシカケ科ではマツノネクタケ、ツヤウチワタケ、キシメジ科ではマツオウジ、ナラタケモドキ等がとくに多かった。また、キシメジ科のヤグテタケ、イグチ科のクロアワタケは珍しかった。

⑳ 町田市野津田町 分布数 5科6種

市立薬師池公園附近の林地で、手入はよく、殆んどサルノコシカケ科のキノコで、種類は極めて少なかった。

㉑ 町田市常盤町 分布数 6科8種

通常「戦車道路」附近の林地で、手入不良林分が多く、荒廃していて、キノコの種類は極めて少なかった。

㉒ 稲城市百村 分布数 11科16種

武蔵野線トンネル上の林地で、サルノコシカケ科のカワラタケ、エゴノキタケ等の樹上生のキノコが多かった。

②③ 日野市程久保 分布数 12科18種

中央大学附近の林地で、サルノコシカケ科、ベニタケ科のキノコが多かった。

②④ 八王子市上由木 分布数 15科25種

多摩ニュータウン造成地附近の林地で、全体に荒廃していて、サルノコシカケ科のキノコが多くみられたが、一部にフウセンタケ科のフジイロタケモドキの弧生及びアンズタケ科のカラスタケもみられた。

②⑤ 八王子市石川町 分布数 9科12種

八高線小宮駅東側の丘陵性林地で、サルノコシカケ科以外のキノコは少なかった。

②⑥ 八王子市宇津木町 分布数 14科35種

国道16号東側の林地で、林内は全般に明るく、サルノコシカケ科、ベニタケ科、イグチ科、ハラタケ科のキノコが多く、とくに、クギタケ科のクギタケ、イグチ科のクリイロイグチ、ベニタケ科のニオイワチチタケは珍らしく、種類はかなり豊富であった。

②⑦ 八王子市加住町 分布数 11科26種

ゴルフ場附近の林地で、林内は明るく、ベニタケ科のキノコが多く、なかでもチチタケがめだった。

②⑧ 八王子市上川町 分布数 12科27種

ゴルフ場附近の林地で、林内は明るく、テングタケ科のツルタケ、ドクツルタケ(毒)、イグチ科のヤマドリタケがめだった。

②⑨ 八王子市高月町 分布数 19科34種

滝山城跡西側の村地で、多摩川に面し、手入不良林分であるが、明るく、ドクベニタケ、ヤブレベニタケ、チョウジチチタケ等のベニタケ科のキノコが多く、クロチチタケ、アンズタケ科のクロラッパタケは珍しかった。

③⑩ 八王子市戸吹町 分布数 15科30種

ゴルフ場附近の林地で、林内は明るく清潔で、ドクベニタケ、ヤブレベニタケ等のベニタケ科、エゴノキタケ、アオロウジ等のサルノコシカケ科のキノコが多く、とくに、イボタケ科のケロウジは珍しかった。

③⑪ 秋川市草花 分布数 14科35種

ゴルフ場周囲の林地で、林内は下草の繁茂甚しく、ナラタケモドキ、ウラムラサキ等のキシメジ科、ツルタケシロオニタケ等のテングタケ科のキノコが多く、ベニタケ科のハツタケもわずかにみられた。

③⑫ 秋川市菅生上 分布数 13科38種

蔵守院の裏山で、林内は灌木の繁茂甚しく、ツルタケ、

コタマゴテングタケ、テングタケ(毒)等のテングタケ科、ドクベニタケ、ツチカブリ等のベニタケ科のキノコがめだった。

③⑬ 秋川市菅生尾崎 分布数 14科36種

尾崎観音の裏山で、林内は明るく、カイガラタケ、カワラタケ等のサルノコシカケ科、テングタケ科のシロオニタケ等が多く、コウヤクタケ科のハナビラタケ、イグチ科のハナガサイグチ、イホダケ科のニオイハリタケは珍しかった。

③⑭ 西多摩郡日の出町平井谷の入 分布数 12科38種

林内は手入不良で、灌木が繁茂して暗く、クサハツ、ヤブレベニタケ、ドクベニタケ、チチタケ、ツチカブリ等のベニタケ科のキノコがとくに多く、なかでも、アオムラサキハツ、ハイロカラチチタケ、オニイグチ科のベニイグチは珍しかった。

③⑮ 西多摩郡日の出町平井谷戸 分布数 22科51種

林内は比較的明るく、シロハツモドキ、クロハツ、クサハツ、カワリハツ、チチタケ、ツチカブリ等のベニタケ科、スミゾメシメジ等のキシメジ科、キイボガサタケ、ウラベニホテイシメジ等のイツボンシメジ科のキノコが多くみられ、とくに、イツボンシメジ科のソライロタケは珍らしく、キノコの種類はかなり豊富であった。

③⑯ 西多摩郡五日市町横沢 分布数 12科28種

横沢入の林地で、高令林で明るく、クサハツ、ヤブレベニタケ、ドクベニタケ、カラハツタケ等のベニタケ科のキノコが多く、また、キシメジ科のカワキタケ、オシロイシメジ、ピロウドツエタケは珍しかった。

③⑰ 西多摩郡五日市町小和田 分布数 13科32種

広徳寺の裏山で、林内は比較的明るく、キツネタケ、サマツモドキ(毒)、ミネシメジ、ナラタケ等のキシメジ科のキノコが多く、とくに、ナラタケがヒノキ造林地のコナラの伐株に群生していたが、ナラタケ菌の林木への感染が憂慮される。そのほか、ベニタケ科のキハツタケは珍しかった。

③⑱ 西多摩郡桧原村数馬 分布 10科37種

秋川最上流三頭山の東側に広がる都有林で、モミ、ツガ、ブナ等の混交した原生林であって、林内は暗く、倒木多く、ツガサルノコシカケ、ツリガネタケ、マスタケ、マイタケ、アシグロタケ等のサルノコシカケ科、ブナの倒木に群生するキシメジ科のムキタケ、ヒラタケ、ツキヨタケ(毒)、ほかに、シイタケ、カヤタケ、ヌメリツバタケモドキ等、イグチ科のハナイグチ、シロヌメリイグチ等、ハリタケ科のブナハリタケ等平坦部ではみられ

ない種類が多かった。更に、猛毒茸である、イツボンシメジ科のクサウラベニタケ、テングタケ科のシロタマゴテングタケもみられた。

③⑨ 青梅市長瀬8丁目 分布数 12科33種

市営墓地公園附近の林地で、林内はよく整備されていて明るく清潔で、ヤブレベニタケ、ドクベニタケ等のベニタケ科、ムラサキヤマドリタケ、チチアワタケ、イロガワリ等のイグチ科、フウセンタケモドキ、クリフウセンタケ等のフウセンタケ科のキノコが多かった。

④⑩ 青梅市長瀬9丁目 分布数 17科36種

大荷田の林地で林内は灌木の繁茂甚しく、クロハツモドキ、クサハツ、ヤブレベニタケ、ツチカブリ等のベニタケ科、カワラタケ、オシロイタケ、アオロウジ等のサルノコシカケ科、ツルタケ、コタマゴテングタケ、ヘビキノコモドキ等のテングタケ科のキノコが多く、また、イツボンシメジ科のウラベニホテイシメジ、ノボリリュウ科のクロアシボソノボリリュウもみられた。

④⑪ 青梅市新町 分布数 9科22種

青梅市東部の物見塚交叉点南側の林地で、アカマツの林内は手入れ不良で、下草の繁茂甚しく、全般に暗く、カワラタケ等のサルノコシカケ科、クサハツ、ドクベニタケ、チチタケ等のベニタケ科のキノコが多く、とくに、キシメジ科のシモコシは珍らしかった。

④⑫ 青梅市小曾木1丁目 分布数 17科41種

七国峠附近のアカマツ林内で、下草の繁茂、落葉の堆積甚しく、全般に暗く、ミネシメジ、ハエトリシメジ、ウラムラサキ、クロハツ上のヤグラタケ等のキシメジ科、クロハツ、ドクベニタケ、ヒロハチチタケ等のベニタケ科のキノコが多く、更に、イツボンシメジ科のウラベニホテイシメジ、ホウキタケ科のホウキタケもかなりめだち、全般にキノコの種類は豊富であった。

④⑬ 青梅市小曾木3丁目 分布数 11科29種

小曾木地区西部の林地で、林内は手入れ不良で暗く、シロハツモドキ、クサハツ、ヤブレベニタケ、ヒロハチチタケ、ツチカブリ等のベニタケ科のキノコが最も多く、次いで、サルノコシカケ科のキノコもかなりみられた。

④⑭ 青梅市小曾木4丁目 分布数 18科37種

小曾木農協の裏山で、アカマツの瘠悪林地で、林内は下草、灌木の繁茂甚しく、シロハツモドキ、ドクベニタケ、チチタケ、ハツタケ等のベニタケ科、シロヌメリイグチ、ザラエノハラタケ等のハラタケ科のキノコが多く、テングタケ科のテングタケ(毒)、ホウキタケ科のハナホウキタケの弧生もみられた。

④⑮ 青梅市青梅 分布数 10科25種

市立永山公園附近の林地で、全体によく整理されていて明るい、人の立入甚しく、カバイロツルタケ、ツルタケダマシ、タマゴタケ、コタマゴテングタケ、テングタケ(毒)等のテングタケ科のキノコがとくに多く、ヌメリガサ科のオオサクラシメジもみられた。

④⑯ 青梅市成木7丁目 分布数 12科31種

高水山から岩茸石山までの海拔700m前後の林地で、全体に山岳林で、比較的自然的状態がよく保たれていて、ツルタケ、ドクツルタケ(毒)、コタマゴテングタケ等のテングタケ科、ヒイロタケ、カワラタケ、マスタケ等のサルノコシカケ科のキノコが多く、更に、モエギタケ科のクリタケ、ニガクリタケ(毒)、ヌメリガサ科のオオサクラシメジもみられた。

④⑰ 青梅市御岳山 分布数 14科35種

大塚山附近のモミ、ツガ、ミズナラ等が混交する天然林内で、カワリハツ、ドクベニタケ、キチチタケ等のベニタケ科、ツキヨタケ(毒)、アイシメジ、クロサカズキシメジ等のキシメジ科のキノコが多く、更に、イグチ科のハナイグチ、モエギタケ科のクリタケ、ヌメリガサ科のオオサクラシメジ、テングタケ科のドクツルタケ(毒)、またオニグチ科のクロイグチは珍らしかった。

④⑱ 西多摩郡奥多摩町日原小川谷 分布数 6科13種

④⑲ " " " " 分布数 12科24種

⑤① " " " 孫惣谷 分布数 12科34種

⑤② " " " 己ノ戸谷 分布数 12科36種

日原川上流域の埼玉県境に近い都有林(水源林)内で、本調査地としては最も海拔高く、1500m前後のカラマツ、モミ、ツガ、ザツ等の交った天然林で、最近、カラマツの人工造林地に転換しているが、自然がよく保護されていて、地形も極めて急峻である。ここでは、アシゲロタケ、オツネタケモドキ、マスタケ、コフキササルノコシカケ、ツリガネタケ等のサルノコシカケ科、ムキタケ、ヒラタケ、キツネタケ、ナラタケ、チシオタケ等のキシメジ科、カラカサタケ、アカキツネガサ等のハラタケ科、モエギタケ、クリタケ、ニガクリタケ(毒)等のモエギタケ科のキノコが最も多く、更にイツボンシメジ科のクサウラベニタケ(毒)、テングタケ科のベニテングタケ(毒)、ヌメリガサ科のキヌメリガサ、アケボノサクラシメジ、イグチ科のハナイグチ、シロヌメリイグチ、ハリタケ科のヤマブシタケ、シロキクラゲ科のニカワハリタケ、サルノコシカケ科のアオゾメタケ等の珍しいキノコが多くみられた。

表-4 野生キノコ調査目録

E:地上生 L:樹上生
 凡 例 △:針葉樹林 ○:広葉樹林
 △:針葉樹林 ○:針葉樹林
 M:食 P:毒

ASCOMYCETES 子のう菌類
Xylariaceae クロサイワタケ科

学名	和名	生育環境					食毒性			調査地番号
		E	L	△	○	△	○	M	P	
<i>Hypoxylon annulatum</i> (Schw.) Mont.	クロコブタケ		○							2, 12, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 24, 26, 27, 29, 30, 31, 33, 35, 36, 40
<i>Helveliaceae</i> ノボリリュウ科										
<i>Helvella atra</i> FR.	クロアシボノボリリュウ	○				○				40
<i>Helotiaceae</i> ヒョウタケ科										
<i>Bulgaria globosa</i> FR.	オオゴムタケ		○			○				24
<i>Geoglossaceae</i> テンゲノメシガイ科										
<i>Leotia lubrica</i> FR.	ズキンタケ	○				○				35, 36, 40
BASIDIOMYCETES 担子菌類 HETEROBASIDIAE 異担子菌綱 AURICULARIALES キクラゲ目 Auriculariaceae キクラゲ科										
<i>Auricularia Polytricha</i> (MONT.) SACC.	アラゲキクラゲ		○			○			○	8, 12, 13, 16, 17, 22, 27, 29

学名	和名	生育環境				食毒性		調査地番号
		E	L	山	川	M	P	
TREMELLALES Tremellaceae シロキクラゲ目 シロキクラゲ科								
<i>Tremella foliacea</i> FR.	ハナビラニカワタケ	○		○		○		17, 19, 22, 23, 25, 26, 29, 30, 31, 35, 36, 37, 39, 40, 44, 47, 48, 50
<i>Pseudohydnum gelatinosum</i> (FR.) KARST.	ニカワハリタケ	○				○		48
HOMOBASIDIAE HYMENOMYCETES APHYLLOPHOPALES Clavariaceae 同担子菌亜綱 菌じん類 ヒダナシ目 ホウキタケ科								
<i>Clavulinopsis fusiformis</i> (FR.) CORNER	ナギナタタケ	○		○		○		22, 37
<i>Clavulinopsis helvola</i> (FR.) CORNER	キノウメンタケ	○		○		○		17, 32
<i>Clavaria fumosa</i> FR.	サヤナギナタタケ	○				○		16
<i>Clavaria purpurea</i> FR.	ムラサキナギナタタケ	○		○		○		16
<i>Clavulina cristata</i> (FR.) SCHROET.	カレエダタケ	○		○		○		16, 19, 23
<i>Ramaria botrytis</i> (FR.) RICKEN	ホウキタケ	○				○		42
<i>Ramaria formosa</i> (FR.) QUEL.	ハナホウキタケ	○				○		27, 28, 35, 42, 43, 44
<i>Ramaria aurea</i> (FR.) QUEL.	コガネホウキタケ	○		○				47
<i>Ramaria apiculata</i> (FR.) DONK	チャホウキタケモドキ			○		○		16, 18, 19
Corticiaceae コウヤクタケ科								
<i>Corticium chrysocreas</i> BERK. et CURT.	コガネコウヤクタケ	○				○		22, 29, 32, 33, 34, 35, 36, 40, 41, 43, 44

学 名	和 名	生 育 環 境					食 毒 性			調 査 地 番 号
		E	L	A	I	II	M	P		
<i>Stereum ostrea</i> (BL. et NEES) FR.	チャウロコタケ		○							17
<i>S. umbrinum</i> BERK. et CURT.	カミウロコタケ		○				○			17, 24
<i>Stereum spectabile</i> KLOTZSCH	モミジウロコタケ		○				○			23, 27
<i>Sparassis crispa</i> FR.	ハナビラタケ		○	○				○		33
<i>Cantharellaceae</i> アンズタケ科										
<i>Craterellus aureus</i> BERK. et CURT.	トキイロラッパタケ		○					○		33, 35, 42, 43, 44
<i>Craterellus cornucopioides</i> (FR.) PERS.	クロラッパタケ		○					○		29
<i>Cantharellus cibarius</i> FR.	アンズタケ		○					○		16, 17, 18, 23, 26, 28
<i>Cantharellus pallidus</i> YASUDA	シロアンズタケ		○					○		20, 24, 34
<i>Cantharellus floccosus</i> SCHW.	ウスタケ		○				○			27, 28, 34, 35, 37
<i>Cantharellus infundibuliformis</i> (SCOP.) FR.	ミキイロウスタケ		○				○			32, 35, 36
<i>Polyzellus multiplex</i> (UNDERW.) MURR.	カラスタケ		○				○			24
<i>Thelephoraceae</i> イボタケ科										
<i>Thelephora terrestris</i> FR.	イボタケ		○				○			16, 30
<i>Calodon suaveolens</i> (SCOP.) KARST.	ニオイハリタケ		○				○			33
<i>Sarcodon scabrosus</i> (FR.) KARST.	ケロウジ		○					○		30
<i>Boltopsis leucomelas</i> (FR.) FAYOD.	クロカワ		○					○		44

学名	和名	生育環境					食毒性		調査地番号
		E	L	△	□	○	M	P	
Hydnaceae									
ハリタケ科									
<i>Hydnum repandum</i> FR. var. <i>album</i> QUÉL.	シロキノシタ	○				○			16, 43, 46
<i>Hydnum repandum</i> FR.	カノシタ	○				○			28, 30, 42, 44, 45
<i>Creolophus pergamenus</i> (YASUDA) IMAZ.	ブナハリタケ		○				○		38, 51
<i>Sistotrema confuens</i> FR.	ヒメハリタケモドキ	○		○					18, 20, 25
<i>Hericium erinaceum</i> (FR.) PERS.	ヤマブシタケ		○				○		49
Polyporaceae									
サルノコシカケ科									
<i>Trametes coccinea</i> FR.	ヒロタケ		○			○			16, 24, 33, 41, 44, 46
<i>Daedalea dickinsii</i> (BERK.) YASUDA	ホウロクタケ		○			○			16, 17, 18, 19, 38, 49, 50
<i>Coriolus hirsutus</i> (FR.) QUÉL.	アラガカワラタケ		○				○		2, 7, 19
<i>Coriolus versicolor</i> (FR.) QUÉL.	カワラタケ		○				○		1, 2, 5, 7, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 21, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51,
<i>Coriolus consors</i> (BERK.) IMAZ.	ニクスバタケ		○			○			1, 2, 5, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 22, 24, 26, 27, 31, 37, 46
<i>Microporus feabedii</i> farmis (FR.) KUNTZE	ウチワタケ		○			○			10, 13, 16
<i>Microporus affinis</i> (Blume et Nees.) KUNTZE	ツヤウチワタケ		○			○			2, 16, 17, 18, 19, 26, 27, 28, 29, 33, 36, 40, 43
<i>Hirschioporus parmegenus</i> (FR.) BOND. et SING.	ハカワラタケ		○			○			12, 19, 48
<i>Hirschioporus fuscoviolaceus</i> (FR.) DONK	ウスバシナイタケ		○				○		38

学 名	和 名	生 育 環 境					食 毒 性			調 査 地 番 号	
		E	L	△	♀	♂	△	♀	M		P
<i>Lenzites betulina</i> FR.	カイガラタケ		○		○						5,16,17,18,19,24,25,27,31, 32,33,34,35,36,44,45
<i>Daedaleopsis tricolor</i> (FR.) SCHROET.	チャカイガラタケ		○		○						18,19,23,24,33,37,41
<i>Tyromyces caesioides</i> (FR.) KARST.	アオゾメタケ		○	○							49
<i>Daedaleopsis styracina</i> (P. HENN.) IMAZ.	エゴノキタケ		○		○						2,4,9,12,13,15,16,17,18,22, 23,25,26,27,28,29,30
<i>Daedal ambigua</i> BERK.	シロミダレアマタケ		○		○						24
<i>Polyporellus brumalis</i> (FR.) KARST.	オツネンタケモドキ		○		○						49,50
<i>Polyporellus picipes</i> (FR.) KARST.	アシゲロタケ		○		○			○	○		38,48,50,51
<i>Codtricia cinnamomea</i> (FR.) MURR.	ニツケイタケ	○			○						16,17,19,29,30,34,35,41,42, 44
<i>Hirschioporus versatilis</i> (BERK.) IMAZ.	シラゲタケ		○		○						24
<i>Tyromyces lancteus</i> (FR.) MURR.	オシロイタケ		○		○						17,18,19,22,23,26,36,40,43
<i>Phaeolus schweinitzii</i> (FR.) PAT.	カイメンタケ		○		○						16,18,33,49
<i>Polyporus caeruleoporus</i> PECK	アオロウジ		○		○				○		30,40
<i>Polyporus dispansus</i> LLOYD	コウモリタケ		○		○						19,32
<i>Grifola frondosa</i> (FR.) S. F. GRAY	マイタケ		○		○				○		38
<i>Laetiporus sulphureus</i> (FR.) BOND. et SING. var. <i>miniatus</i> (JUNGH.) IMAZ.	マスタケ		○		○				○		38,46,49
<i>Ganoderma lucidum</i> (FR.) KARST.	マンネンタケ		○		○						5,37,38
<i>Elfvigia appplanata</i> (PERS.) KARST.	コフキサルノコシカケ		○		○				○		2,3,5,13,15,38,48,51

学名	和名	生育環境					食毒性			調査地番号	
		E	L	上	下	△	○	△	M		P
<i>Fomes fomentarius</i> (FR.) KICKX	ツリガネタケ		○				○				38, 48, 49, 50, 51
<i>Ischnoderma resinosum</i> (FR.) KARST.	ヤニタケ		○				○				8, 50
<i>Fomitopsis pinicola</i> (FR.) KARST.	ツガサルノコシカケ		○	○							38, 49
<i>Fomitopsis castanea</i> IMAZEKI	クロサルノコシカケ		○				○				48
<i>Fomitopsis vinosa</i> (BERK.) IMAZ.	ブドウタケ		○				○				15, 22, 38
<i>Fomitopsis insularis</i> (MURR.) IMAZ.	レンガタケ		○	○							28
<i>F. annosa</i> (FR.) KARST.	マツノネクチタケ		○	○							16, 17, 18, 19, 40
<i>Fomitopsis cylisina</i> (BERK.) BOND. et SING.	ベッコウタケ		○				○				10, 27
<i>Poria Varsipova</i> (PERS) ROMELL.	アナタケ		○				○				2, 4, 6, 9, 10, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 33, 34, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 46, 47
Mucronoporaaceae キコブタケ科											
<i>Onnia orientalis</i> (LLOYD) IMAZEKI.	アズマタケ		○	○							24
<i>Inonotus tabacinus</i> (MONT.) KARST.	キヌハダタケ		○				○				12
<i>Inonotus kanokiree</i> (YASUDA) IMAZEKI.	ユラタケ		○				○				13, 24
<i>Phellinus gilvus</i> (FR.) PAT.	ネンドタケ		○				○				12, 13, 21, 22, 29, 31, 32, 33, 35, 36, 42, 43
<i>Cryptoderma citrinum</i> IMAZEKI.	ダイダイタケ		○				○				12, 13, 15, 22, 23, 25, 34
<i>Hymenochaete rubiginosa</i> (FR.) LEV.	エビウロコタケ		○				○				17, 18, 22, 23

学名	和名	生育環境					食毒性			調査地番号
		E	L	△	♀	♂	M	P		
ACARICALES										
ハラタケ目										
Hygrophoraceae										
ヌメリガサ科										
<i>Hygrophorus russula</i> (FR.) QUEL	サクラシメジ	○			○			○		30
<i>H. erubescens</i> (FR.) FR.	オオサクラシメジ	○		○				○		45, 46, 47
<i>Hygrophorus poelearum</i> R. HEIM	アケボノサクラシメジ	○			○			○		50
<i>H. lucorum</i> halchbr.	キシヌメリガサ	○			○			○		49
<i>Hygrophorus arbustivus</i> FR.	コクリノカサ	○			○			○		23, 35, 49
<i>Hygrophorus pratensis</i> (FR.) FR.	ハダイロガサ	○			○			○		28, 30, 37, 39, 42, 44, 45, 46, 47
<i>H. miniata</i> (FR.) KARST.	アカヌマベニタケ	○			○					47
<i>H. flavescens</i> (KANFFM) SING.	アキヤマタケ	○			○					50
<i>H. aurantia</i> MURR.	ヒメダイダイタケ	○			○					35
Tricholomataceae										
キシメジ科										
<i>Panellus serotinus</i> (FR.) KÜHN.	ムキタケ		○		○			○		38, 49
<i>Pleurotus ostreatus</i> (FR.) KUMMER	ヒラタケ		○		○			○		38, 51
<i>P. conchatus</i> (FR.) FR.	カワキタケ		○		○					36
<i>Lenitinus lepideus</i> (FR.) FR.	マツオウジ		○		○			○		16, 17, 18
<i>Lenitinus edodes</i> (BERK.) SING	シイタケ		○		○			○		38
<i>T. irinum</i> (FR.) MUMMER	ハタシメジ	○						○		8

学名	和名	生育環境					食毒性			調査地番号	
		E	L	△	∩	△∩	M	P			
<i>Lyophyllum transforme</i> (BRITZ.) SING.	カクミノシメジ	○			○				○		30, 51
<i>Lyophyllum semitale</i> (FR.) KÜHN.	スミノシメジ	○			○				○		35
<i>L. fallax</i> (PECK) KÜHN. & ROMAGN.	ヒメキシメジ	○		○							40
<i>Asterophya lycoperoides</i> (MÉRAT) S. F. GRAY	ヤグラタケ		キノコ上		○						19, 42
<i>Laccaria laccata</i> (FR.) COOKE	キツネタケ	○			○				○		10, 16, 17, 18, 19, 37, 49, 50, 51,
<i>Laccaria proxima</i> (BOUD.) PAT.	オオキツネタケ	○			○				○		27, 47, 49, 50, 51
<i>Laccaria amethystea</i> (MÉRAT) MURRILL.	ウラムラサキ	○						○	○		5, 16, 17, 26, 28, 31, 35, 40, 42, 44,
<i>Lampteromyces japonicus</i> (KAWAM.) SING.	ツキヨタケ		○		○					○	38, 47
<i>C. infundibuliformis</i> (FR.) QUÉL.	カヤタケ	○			○				○		38
<i>C. fragrans</i> (FR.) QUÉL.	コカブイヌシメジ	○			○				○		37
<i>Clitocybe candicans</i> (FR.) KUMMER	シロヒメカヤタケ	○			○						16
<i>C. cerussata</i> (FR.) KUMMER.	オシロイシメジ	○			○				○		36, 42
<i>Tricholomopsis rutilians</i> (FR.) SING.	サマツモドキ		○	○						○	19, 33, 37
<i>Tricholomopsis platyphy</i> (FR.) SING.	ヒロヒダタケ	○			○				○		17, 18, 19
<i>Armillariella mellea</i> (FR.) KARST.	ナラタケ		○		○				○		5, 7, 8, 10, 15, 24, 31, 37, 38, 49, 50, 51
<i>Armillariella tabescens</i> (FR.) SING.	ナラタケモドキ		○		○				○		16, 17, 18, 19, 26, 31, 33, 39, 43

学 名	和 名	生 育 環 境					食 毒 性			調 査 地 番 号
		E	L	△	○	△	△	○	P	
<i>T. orirubens</i> QUEL.	ケシヨウシメジ	○		△	○				○	17, 18, 29
<i>Tricholoma saponaceum</i> (FR.) KUMMER	ミネシメジ	○				○			○	16, 34, 37, 42, 43
<i>Tricholoma japonicum</i> KAWAM.	シロシメジ	○		○					○	46
<i>Tricholoma muscarium</i> KAWAM. et HONGO	ハエトリシメジ	○				○			○	42, 46, 48
<i>Tricholoma flavovirens</i> (FR.) LUNDELL	キシメジ	○			○				○	35, 42
<i>T. sejunctum</i> (FR.) QUEL.	アイシメジ	○			○				○	35, 44, 47
<i>Tricholoma flavovirens</i> (FR.)	シモコシ	○		○					○	41
<i>Melanoleuca melaleuca</i> (FR.) MURR.	コザラミノシメジ	○				○			○	37
<i>Leucopaxillus giganteus</i> (FR.) SING.	オオイチョウタケ	○			○				○	16, 17, 18
<i>C. cyathiformis</i> (FR.) SING.	クロサカズキシメジ		○		○				○	37, 38, 47
<i>C. erthropus</i> (FR.) KUMMER	カレバタケ	○			○				○	1, 8, 16, 17, 18, 19, 37, 39, 46, 47
<i>Collybia dryophila</i> (FR.) KUMMER	モリノカレバタケ	○			○				○	16, 18, 29, 31, 36, 42, 48
<i>Collybia peronata</i> (FR.) KUMMER	ワサビカレバタケ	○			○				○	16, 18, 31, 34, 36
<i>Oudemansiella venosolamellata</i> (IMAZ. et TOKI) IMAZ. et HONGO	ヌメリツバタケモドキ		○		○				○	38, 50
<i>Oudemansiella radicata</i> (FR.) SING.	ツエタケ	○			○				○	4, 5, 6, 8, 16, 17, 18, 25, 28, 32, 36, 38, 50
<i>O. longipes</i> (ST AMANS) MOSER	ピロードツエタケ	○			○				○	1, 36
<i>Flammulina velutipes</i> (FR.) KARST.	エノキタケ		○		○				○	5
<i>Marasmius maximus</i> HONGO	オオホウライタケ	○			○				○	33, 40, 41, 50

学名	和名	生育環境					食毒性		調査地番号
		E	L	△	♀	♂	M	P	
<i>Marasmius siccus</i> (SCHW.) FR.	ハリガネオチバタケ	○			○				3,31,37,39
<i>M. androsateus</i> (FR.) FR.	オチバタケ	○			○				14
<i>M. filipes</i> (FR.) KUMMER	ニオイアシナガタケ	○			○				10
<i>Mycena haematopus</i> (FR.) KUMMER	チシオタケ		○		○				29,38,50,51
<i>M. sanguinolenta</i> (FR.) QUEL.	ヒメチシオタケ	○			○				44
<i>Mycena crocata</i> (FR.) KUMMER	アカチシオタケ		○		○				51
<i>M. osmundicola</i> LANGE	シロコナカブリ		○		○				1
<i>Mycena pura</i> (FR.) KUMMER	サクラタケ	○			○			○	18
<i>Xeromphalina campanella</i> (FR.) MAIRE	ヒメカバイタケ		○		○				16,18,19,46,51
<i>Amanitaceae</i>									
テングタケ科									
<i>Amanita vaginata</i> (FR.) VITT.	ツルタケ	○						○	2,3,7,16,17,19,26,28,29,31,32,34,37,39,40,41,42,43,46,47
<i>A. vaginata</i> (FR.) QUEL. ^{ver. fulva} (FR.) GILL.	カバイツルタケ	○						○	14,17,18,19,26,28,30,31,32,33,34,35,39,40,42,45,46,49,50,51
<i>A. vaginata</i> (FR.) VITT. ^{ver. alba} GILL.	シロツルタケ	○						○	16,17,18,19,33,34
<i>A. vaginata</i> (FR.) VITT. ^{ver. punctata}	オオツルタケ	○						○	16,17,18,19
<i>Amanita inaurata</i> SECR.	テングツルタケ	○						○	16,17,18,19,31
<i>A. griseofarinosa</i> HONGO	コナカブリテングタケ	○						○	34

学 名	和 名	生 育 環 境				食 毒 性		調 査 地 番 号
		E	L	♂	♀	M	P	
<i>A. farinosa</i> SCHW.	ヒメコナカブリツルタケ	○	○					5,16,17,18,19,34,42
<i>A. spreta</i> (PACK) SACC.	ツルタケダマシ	○		○				6,18,19,45
<i>Amanita aggreginata</i> (BERK. et CURT.) LLOYD	フクロツルタケ	○		○				16,17,18,19,26,27,28,33,34,41
<i>Amanita caesarea</i> (FR.) SCHW.	タマゴタケ	○			○	○		2,39,45
<i>Amanita verna</i> (FR.) VITT.	シロタマゴテングタケ	○		○			○	38,51
<i>A. virosa</i> SECR.	ドクツルタケ	○		○			○	28,37,46,47
<i>Amanita porphyria</i> (FR.) SECR.	コテングタケ		○					26
<i>A. pseudoporphyria</i> HONGO	コテングタケモドキ	○		○				16,17,18,31,33,35,37,43,45
<i>Amanita citrta</i> S.F. GRAY	コタマゴテングタケ	○		○				16,19,29,30,31,32,34,39,40,45,46,47,50,51
<i>Amanita muscaria</i> (FR.) HOOKER	ベニテングタケ	○		○			○	51
<i>Amanita pantherina</i> (FR.) SECR.	テングタケ	○			○		○	16,17,18,19,32,37,44,45,47
<i>A. flavipes</i> IMAI	コガネテングタケ	○		○				16,18,19,46
<i>Amanita melleiceps</i> HONGO	ヒメコガネツルタケ	○				○		16,17,
<i>A. longistriata</i> IMAI	タマゴテングタケモドキ	○		○				2,16
<i>A. fuliginea</i> HONGO	クロタマゴテングタケ	○		○				1,5,9,10,11,16,17,18,19,43
<i>Amanita spissacea</i> IMAI	ヘビキノコモドキ	○		○				16,17,18,33,40
<i>A. lutescens</i> HONGO	イロガワリヘビキノコ	○		○				43

学名	和名	生育環境			食毒性		調査地番号
		E	L	△	M	P	
<i>Amanita virginicoides</i> BAS	シロオニタケ	○	○	○			16,17,18,22,23,28,30,31,32,33,40,43
<i>P. cervinus</i> (SECR.) QUEL.	シカタケ		○	○	○		10,12,18
<i>Pluteus leoninus</i> (FR.) KUMMER	ベニヒダタケ		○	○			24,41
Agaricaceae							
ハラタケ科							
<i>Lepiota lutea</i> (SECR.) GOOFRIN	キツネノハナガサ	○		○			7,16,17,18,19
<i>L. otsuensis</i> HONGO	ミノヒガサタケ	○		○			44,51
<i>Lepiota japonica</i> KAWAM. et HONGO	アカキツネガサ	○		○			1,2,5,6,7,8,17,50,51
<i>Lepiota procera</i> (FR.) S.F. GRAY.	カラカサタケ	○		○	○		19,23,26,31,33,35,38,39,48,50,51
<i>L. clypeolaria</i> (FR.) QUEL	ワタカラカサタケ	○		○	○		38,50,51
<i>L. praelervisa</i> HONGO	ナカグロヒメカラカサタケ	○			○		2,6,7,8,16,17,44,51
<i>L. atrosvanulosa</i> HONGO	ナカグロキツネノカラカサ	○			○		2,6,8,18,48
<i>L. cygnea</i> LANGE	シロヒメカラカサタケ	○			○		1
<i>Lepiota acutesquamosa</i> (WEIMM.) KUMMER	オニタケ	○		○	○		8
<i>Phaeolepiota aurea</i> (FR.) MAIRE	コガネタケ	○		○	○		38
<i>C. granulosa</i> (FR.) FAYOD	ヒメオニタケ	○			○		19
<i>A. campestris</i> FR.	ハラタケ	○			○		2,3,8,11,18,19,21,25,35,39,40,42,45,46,47,50,51
<i>Agaricus subtrilobescens</i> (KAUFFM.) HOTSON et STUNTZ	ザラエノハラタケ	○			○		1,2,3,5,7,8,16,17,18,19,26,27,29,31,32,39,42,44,45,46,50

学名	和名	生育環境						食害性			調査地番号
		E	L	△	♀	♂	△	M	P		
<i>Agaricus arevensis</i> SECR.	シロオオハラタケ	○				○					1, 17, 19, 26, 30, 31, 32, 44
<i>A. placomyces</i> PECK	ハラタケモドキ	○				○					2, 6, 7, 8, 16, 19, 34, 42
Copriniaceae											
ヒトヨタケ科											
<i>Coprinus comatus</i> (FR.) S.F. GRAY	ササクレヒトヨタケ	○				○					10, 16
<i>Coprinus atramentarius</i> (FR.) FR.	ヒトヨタケ	○				○					22, 35
<i>C. micaceus</i> (FR.) FR.	キララタケ		○			○					50
<i>Psathyrella candolleana</i> (FR.) MAIRE	イタチタケ		○			○					1, 2, 7, 9, 10, 17, 18, 19, 26, 29, 30, 32, 37, 42
<i>Psathyrella hydrophila</i> (FR.) MARE	ムササビタケ		○			○					12, 13, 14, 15, 24, 44, 49
<i>Psathyrella velutina</i> (FR.) SING.	ムジナタケ		○			○					24, 37
Bobbitiaceae											
オキナタケ科											
<i>Conocybe lactea</i> (J. LANGE) METRO	キコガサタケ	○				○					8, 40, 44
<i>Bobbitius vitellinus</i> (FR.) FR.	オキナタケ	○				○					19
<i>A. farinacea</i> HONGO	ツバシフミゾキタケ	○				○					6
Strophariaceae											
モエギタケ科											
<i>Stropharia aeruginosa</i> (FR.) QUÉL.	モエギタケ	○				○					38, 50, 51
<i>Stropharia rugosoannulata</i> FARLOW	サケツバタケ	○				○					10, 11
<i>Naematoloma sublateritium</i> (FR.) KARST.	クリタケ		○			○					18, 19, 25, 46, 47, 49, 50, 51

学 名	和 名	生 育 環 境					食 毒 性			調 査 地 番 号
		E	L	△	△	△	△	M	P	
<i>Naematoloma fasciculare</i> (FR.) KARST.	ニガクリタケ		○		○				○	5,6,10,14,16,17,18,19,22, 24,26,29,30,31,35,38,40, 41,42,44,46,48,49,50,51
<i>P. spumosa</i> (FR.) SING.	キナメツムタケ		○		○			○		17
<i>Pholiota flammans</i> (FR.) KUMMER	ハナガサタケ		○				○	○		38
<i>P. astragalina</i> (FR.) SING.	アアツムタケ		○		○					51
<i>P. lubrica</i> (FR.) SING.	チャナメツムタケ		○	○				○		19,24,50
<i>P. lenta</i> (FR.) SING.	シロナメツムタケ	○			○			○		17,28,35,39,44
<i>Kuehneromyces mutabilis</i> (FR.) SING. et SM.	センボンイチメガネ		○		○			○		16,50
<i>Corinariaceae</i> フウセンタケ科										
<i>Inocybe fastigiata</i> (FR.) QUÉL.	オオキヌハダトマヤタケ	○			○				○	4,16,17,19,26,36
<i>I. cookei</i> BRES.	キヌハダトマヤタケ	○			○					41,51
<i>Inocybe umbrotica</i> QUÉL.	シロニセトマヤタケ	○					○		○	2,9,41
<i>I. calospora</i> QUÉL.	アシボトマヤタケ	○			○					18
<i>Inocybe kobayasi</i> HONGO	コバシアセタケ	○					○			17,18,29,35,42,44
<i>Inocybe lutea</i> KOBAYASI et HONGO	キイロアセタケ	○			○					16,17,18,31
<i>I. subulvata</i> HONGO	ツボアセタケ	○		○						30
<i>I. sphaerospora</i> KOBAYASI	タマアセタケ	○			○					40
<i>Inocybe asterospora</i> QUÉL.	カブラアセタケ	○			○				○	16,19
<i>I. macrosperma</i> HONGO	オオミアセタケ	○			○					10

学 名	和 名	生 育 環 境					食 毒 性			調 査 地 番 号
		E	L	↑	♀	♂	M	P		
<i>Hebeloma spoliatum</i> (FR.) KARST.	アシナガヌメリ	○		♀	♀	♂				2
<i>Rozites caperatus</i> (FR.) KARST.	シヨウゲンジ	○					○			51
<i>Cortinarius elatior</i> FR.	アブラシメジ	○					○			46, 49
<i>C. mucifluus</i> (FR.) FR.	ヌメリササタケ	○					○			2
<i>Cortinarius vibratilis</i> (FR.) FR.	キアブラシメジ	○					○			6
<i>C. aurantiifolius</i> HONGO	コガネフウセンタケ モドキ	○					○			46
<i>C. mellicolens</i> P. D. OKTON	ニセマンジユウガサ	○					○			28, 35, 37, 47
<i>Cortinarius varicolor</i> (FR.) FR.	フジイロタケモドキ	○					○			21, 24, 25, 45, 49
<i>Cortinarius pseudopurpurascens</i> HONGO	フウセンタケモドキ	○								16, 39, 47
<i>C. caevulescens</i> FR.	ムラカキシメジモドキ	○					○			44, 51
<i>Cortinarius</i> SP.	クリフウセンタケ	○					○			39, 45, 47
<i>C. hinnuleus</i> FR.	キツバフウセンタケ	○					○			46
<i>C. liquoritiae</i> (FR.) KARST.	チャツムタケ		○	○						16, 17, 19
<i>Crepidotaceae</i> チャヒロタケ科										
<i>Crepidotus sulphureus</i> IMAZ. et TOKI	フジチャヒロタケ	○					○			18, 19, 29
<i>Rhodophyllaceae</i> イッポンシメジ科										
<i>Clitopilus prunulus</i> (FR.) KUMMER	ヒカゲウラボニタケ	○					○			16, 17, 18, 19, 51
<i>Rhodophyllus murraini</i> BERK. et CURT. SING.	キイボガサタケ	○					○			16, 30, 35, 44

学名	和名	生育環境					食毒性			調査地番号
		E	L	△	○	△	△	M	P	
<i>R. murraini</i> (BERK. et CURT.) SING. F. ALBUS (HIROE) HONGO	シロイボガサタケ	○		△	○	△				35
<i>Rhodophyllus aeruginosus</i> (HIROE) HONGO	ソライロタケ	○			○					35
<i>Rhodophyllus rhodopolius</i> (FR.) QUEL.	クサウラベニタケ	○			○			○		38, 39, 42, 45, 46, 47, 50, 51
<i>Rhodophyllus crassipes</i> (IMAZ. et TOKI) IMAZ. et HONGO	ウラベニホテイシメジ	○			○			○		16, 30, 31, 35, 39, 40, 42, 45, 46
<i>Paxillaceae</i>										
ヒダハタケ科										
<i>Paxillus atroamentosus</i> (FR.) FR.	ニワタケ		○							16, 18, 32, 33
<i>Comphidiaceae</i>										
クギタケ科										
<i>Comphidius roseus</i> (FR.) KARST.	オウギタケ	○			○			○		31, 47
<i>Comphidius rutitus</i> (FR.) LUNDELL	クギタケ	○			○			○		26
<i>Boletaceae</i>										
イグチ科										
<i>Gyroporus castaneus</i> (FR.) QUEL.	クリイロイグチ	○			○			○		26
<i>S. granulatus</i> (FR.) KUNTZE.	チチアワタケ	○			○			○		17, 19, 39, 45
<i>S. aeruginascens</i> (SECY.) SNELL	シロヌメリイグチ	○			○			○		38, 51
<i>Suillus grevillei</i> (KLOTZSCH) SING.	ハナイグチ	○			○			○		34, 38, 47, 49, 51
<i>Suillus luteus</i> (FR.) S. F. GRAY	ヌメリイグチ	○			○			○		16, 17, 18, 19, 31, 37, 42, 44, 45, 50
<i>Suillus bovinus</i> (FR.) O. KUNTZE	アミタケ	○			○			○		16, 17, 28, 35, 37, 42, 44
<i>Phylloporus rhodoxanthus</i> (SCHW.) BRES.	キヒダタケ	○			○			○		16, 17, 18, 19, 26, 27, 41
<i>X. subtomentosus</i> (FR.) QUEL	アワタケ	○			○			○		10, 16, 17, 18

学 名	和 名	生 育 環 境					食 毒 性			調 査 地 番 号
		E	L	△	▽	△	△	M	P	
<i>Xerocomus chrysenteron</i> (St AMANS) QUEL.	キツコウアワタケ	○			○			○		16,17,18,19,43
<i>X.parvulus</i> HONGO	ヒメアワタケ	○			○			○		16,17
<i>X.badius</i> (FR.) KÜHNER.	ニセイロガワリ	○		○				○		17
<i>Pulverobolus ravenelii</i> (BERK. et CURT.) MURR.	キイロイグチ	○				○				16,18
<i>Pulverobolus auriflammeus</i> (BERK. et CURT.) SING.	ハナガサイグチ	○			○			○		18,33
<i>P.retipes</i> (BERK. & CURT.) SING.	キミアシイグチ	○			○					16,17,18,19
<i>T.virens</i> (CHIU) HONGO	ミドリニガイグチ	○			○					16,17,18,39,42,44,47
<i>T.felleus</i> (FR.) KARST.	ニガイグチ	○			○					26
<i>Tyloporus neofelleus</i> HONGO	ニガイグチモドキ	○			○					17,18,19
<i>Boletus griseus</i> FROST	クロアワタケ	○				○				17
<i>Boletus edulis</i> FR.	ヤマドリタケ	○				○		○		16,17,18,39,46,47
<i>Boletus violaceofuscus</i> CHIU	ムラサキヤマドリタケ	○				○		○		16,17,18,19,26,39
<i>B.regius</i> KROMBH.	アカジコウ	○			○			○		16,28,33
<i>Boletus satanas</i> LENZ	ウラベニイグチ	○			○					16,18
<i>B.rubellus</i> KROMBT.	コウジタケ	○			○			○		5,6,17,19,26,27,28,33,34,41
<i>Boletus pulverulentus</i> OPAT.	イロガワリ	○			○			○		10,16,17,18,28,39
<i>Leccinum scabrum</i> (FR.) S.F. GRAY	ヤマイグチ	○		○				○		28,38,40,43,46
<i>Leccinum rugosiceps</i> (PECK) SING.	アカヤマドリ	○						○		16,17

学名	和名	生育環境					食性			調査地番号
		E	L	↑	○	△	♀	M	P	
<i>Strobilomyces</i> 科										
<i>Strobilomyces</i> 科										
<i>Strobilomyces floccopus</i> (FR.) KARST.	オニイグチ	○			○			○		16,17,18,19,26,28,29,33,34,35
<i>Porphyrellus fusisporus</i> (KAWAM.) IMAZ. et HONGO	ヤシヤイグチ	○			○					16,17,18,19
<i>Boletellus ananas</i> (CURT.) MURR.	キクバナイグチ	○			○			○		28,33
<i>B. retisporus</i> (PAT & BAKER) SING.	ベニイグチ	○						○		34
<i>P. pseudoscabey</i> (SECR) SING.	クロイグチ	○			○					47
<i>Russula</i> 科										
<i>Russula</i> 科										
<i>Russula delicata</i> FR.	シロハツ	○			○					17,19,23
<i>R. pseudodelicata</i> LANGE	シロハツモドキ	○						○		6,16,17,18,31,32,34,35,38,42,43,44
<i>R. metachroa</i> HONGO	イロガワリシロハツ	○			○					29
<i>Russula nigricans</i> (MERAT) FR.	クロハツ	○			○			○		2,4,6,17,18,19,35,40,42
<i>Russula densifolia</i> (SECR.) GILL.	クロハツモドキ	○			○			○		17,34,35,36,40
<i>R. adusta</i> (FR.) FR.	コゲイロハツタケ	○						○		16,18
<i>Russula senecis</i> IMAI	オキナクサハツ	○			○					5,16,17,18,19,34,35,43
<i>Russula foetens</i> (FR.) FR.	クサハツ	○			○					16,17,18,26,29,34,35,36,40,41,43
<i>R. laurocerasi</i> MEIZ.	クサハツモドキ	○			○					17,19,27,32,34
<i>R. flavida</i> FROST et PECK	ウコンハツ	○			○					16,17,18,26,27,47

学 名	和 名	生 育 環 境					食 毒 性			調 査 地 番 号	
		E	L	△	○	△	△	○	M		P
<i>R. sororia</i> FR.	キチヤハツ	○			○						27
<i>R. crustosa</i> PECK	ヤブレキチヤハツ	○			○				○		32
<i>Russula lepida</i> FR.	ヤブレベニタケ	○			○				○		1, 16, 17, 18, 19, 23, 27, 30, 33, 34, 35, 36, 39, 43, 45
<i>Russula virescens</i> (ZANTED.) FR.	アイタケ	○			○				○		1, 3, 4, 6, 8, 16, 17, 18, 19, 27, 28, 30, 32, 34, 35
<i>Russula cyanoxantha</i> (SECR.) FR.	カワリハツ	○			○				○		2, 3, 4, 5, 6, 10, 11, 16, 17, 18, 19, 29, 31, 35, 37, 39, 41, 43, 47
<i>R. xerampelina</i> (SECR.) FR.	ニオイベニハツ	○			○				○		19, 26, 41
<i>R. lilacea</i> QUEL.	ウスムラサキハツ	○			○				○		26, 35
<i>R. cutefracta</i> COOKE	アオムラサキハツ	○							○		34
<i>Russula emetica</i> (FR.) S. F. GRAY	ドクベニタケ	○							○		3, 5, 10, 11, 16, 17, 18, 19, 22, 23, 24, 26, 27, 29, 30, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 46, 47, 49, 50, 51
<i>R. fragilis</i> (FR.) FR.	コベニタケ	○			○				○		12, 17, 30, 31
<i>Russula aurata</i> FR.	ニシキタケ	○							○		16, 17, 18, 29, 39
<i>R. sanguinea</i> FR.	チシオハツ	○			○						19
<i>Lactarius volemus</i> (FR.) FR.	チチタケ	○			○				○		16, 17, 18, 19, 23, 27, 29, 34, 35, 36, 40, 41, 44
<i>Lactarius hygrophoroides</i> PERK. et BR.	ヒロハチチタケ	○			○				○		16, 17, 18, 19, 40, 42, 43
<i>L. subplinthogolus</i> COKER	ヒロハウスズミチチタケ	○							○		27, 33, 35

学名	和名	生育環境					食毒性		調査地番号
		E	L	山	谷	川	M	P	
<i>Lactarius chrysotheus</i> FR.	キチチタケ	○			○			○	16, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 39, 42, 43, 44, 45, 46, 47,
<i>L. flavidulus</i> IMAI	キハツタケ	○			○			○	37
<i>L. camphoratus</i> (FR.) FR.	ニセヒメチチタケ	○			○				30, 39
<i>L. acris</i> FR. (von LANGE)	ハイイロカラチチタケ	○			○				34
<i>L. lignyolus</i> FR.	クロチチタケ	○			○				29
<i>L. quietus</i> (FR.) FR.	チョウジチチタケ	○					○		16, 29, 38, 39, 42, 45, 46, 47, 50
<i>L. subzonarius</i> HONGO	ニオイワチチタケ	○			○				26
<i>Lactarius piperatus</i> (FR.) S. F. GRAY	ツチカブリ	○					○	○	16, 17, 18, 27, 32, 34, 35, 36, 40, 43, 50
<i>Lactarius vellereus</i> (FR.) FR.	ケシロハツ	○					○	○	40
<i>L. subvellerus</i> PECK.	ケシロハツモドキ	○			○				30
<i>Lactarius torminosus</i> (FR.) S. F. GRAY	カラハツタケ	○			○				17, 33, 35, 36
<i>Lactarius hatsudake</i> TANAKA	ハツタケ	○			○			○	17, 19, 31, 39, 44, 45
<i>Lactarius laeticolorus</i> (IMAI) IMAZ.	アカモミタケ	○			○			○	37, 47
GASTROMYCETALES フクキン目									
Rhizogonaceae シヨウロ科									
<i>Kobayasia nipponica</i> (KOBAY.) IMAI et A. KAWAM.	シラタマタケ	○			○				5, 12, 13, 16, 17, 18, 19, 24, 29, 32, 34, 35, 37, 40, 41, 42

学名	和名	生育環境					食毒性			調査地番号
		E	L	△	○	⊥	△	○	M	
<i>Calosiomataceae</i>										
クチベニタケ科										
<i>Astraeus hygrometricus</i> (PERS.) MORGAN	ツチグリ	○		○						2,6,7,8,16,18,24,27
<i>Lycoperdaceae</i>										
ホコリタケ科										
<i>Lycoperdon gemmatum</i> FR.	キツネノチャブクロ	○		○				○		2,3,6,7,8,12,13,14,16,17,18,19,20,21,23,29,30,31,32,33,34,35,36,38,39,40,42,43,44,45,46,47,48,49,50,51
<i>Calvatia crataiformis</i> (SEHW.) FR.	ノウタケ	○		○				○		1,2,6,9,10,11,18,19,21,27,31,33,34,36,40,43,44,45
<i>Lasiosphaera nipponica</i> Y. KOBAYASI	オニフスベ	○		○				○		3,9
<i>Geastraceae</i>										
コフキクワツチガキ科										
<i>Geastrum triplex</i> (JUNGH.) FISCH.	エリマキツチガリ	○		○						35,36
<i>Geastrum mirabile</i> MONT.	ヒナツチガキ	○		○						29
<i>Phallaceae</i>										
スッポンタケ科										
<i>Phallus impudicus</i> PERS.	スッポンタケ	○		○						6,10,51

参 考 文 献

- 1) 七宮清, 1975, 神奈川県キノコ, 神奈川県林業試験場研究報告第2号別刷
- 2) 今関六也, 本郷次雄, 1957, 原色日本菌類図鑑, 保育社
- 3) 今関六也, 本郷次雄, 1965, 続原色日本菌類図鑑, 保育社
- 4) 今関六也, 本郷次雄, 椿啓介, 1970, 標準原色図鑑全集 14 菌類(きのこ, かび), 保育社
- 5) 川村清一, 1970, 原色日本菌類図鑑, 第貳巻, 第参巻, 風間書房
- 6) 清水大典, 1968, 原色きのこ全科見分け方と食べ方, 家の光協会
- 7) 清水大典, 水野伸彦, 伊沢正名, 1979, 原色きのこ, 家の光協会